

風しん追加的対策事業の進捗状況について

◎ 趣旨

平成31年4月から開始された風しん追加的対策事業の進捗状況について報告するもの

1 事業の概要について

(1) 目的

- 平成30年7月からの風しんの流行を受け、風しんの抗体保有率が相対的に低い世代の男性に対して早急に風しんの発生及びまん延を予防するための対策を実施する。

(2) 対象者

- 今年度40歳から57歳の男性（昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれ）

→ 上記対象者は、公費での予防接種を受ける機会が一度もなかった世代となっている。

(3) 実施方法等

- 市区町村が発行するクーポン券を利用して、全国の医療機関や健診機関で抗体検査を受ける。
- 抗体検査を受けた結果、十分な量の抗体がないと認められた方は、予防接種を受ける。

(参考) 全国の自治体におけるクーポン券の送付時期

クーポン券送付時期	自治体の割合 (%)
平成31年3月	2.3% <u>本市含む</u>
平成31年4月	17.4%
令和元年5月	40.3%
令和元年6月以降	36.6%
未定・実施予定なし	3.5%

令和元年5月 厚生労働省による調査

(4) 費用

- 抗体検査、予防接種ともに無料

(5) 実施期間

- 令和元年度から令和3年度までの3年間

2 本市における実施状況

平成31年4月から11月の実施状況（合計）

	クーポン券 送付 対象者(X)	抗体検査			予防接種	
		受検者数(Y)	受検 割合 (Y/X)	抗体価が低 い者の数 (予防接種対 象者数) (A)	接種者数 (B)	
					接種 割合 (B/A)	
全年齢 (40~57歳)	67,503人	10,967人	16.2%	2,824人	2,131人	75.4%
40~47歳*	30,413人	4,661人	15.3%	1,220人	903人	74.0%

*クーポン券の送付対象者について、国は、今年度については40歳から47歳の対象者に対して送付するよう手引きの中で示しているが、本市においては全年齢(40歳から57歳)の対象者に対してクーポン券を送付している。

(参考) 国の計算方法に基づく進捗状況（平成31年4月から11月）

	抗体検査	予防接種
国	31.6%	30.6%
県	49.1%	47.2%
市	70.7%	65.4%

3 今後の対応

- ・ 抗体検査未受検者に対するクーポン券の送付（令和2年3月末頃）
- ・ 抗体価が低い予防接種未接種者に対するクーポン券の送付（令和2年3月末頃）
- ・ さらなる接種率向上のため、広報紙による周知に加え、新たに職域を通じた対象者への周知を実施